余市宇宙記念館からのお知らせ

天体観望会

日　時　3月14日(土)
午後6時30分～8時

集合場所　宇宙記念館正面入口

観測対象　金星と冬から春の星雲・星団

※雨や曇りの場合は中止します

申　込　不要・現地集合・無料

注　意　屋外での観望会となりますので、あたたかい服装でご参加ください。

冬期間の宇宙記念館の運営について

観覧について

宇宙記念館は4月17日(金)まで、展示施設の観覧は休止しています。

令和2年度の観覧は4月18日(土)よりスタートします。

施設の利用について

冬期間は宇宙記念館を有効に活用していただくため、多目的シアターや会議室などの各施設を利用できます（有料）。

コンサートや講演会、教室の開催や会議等にご利用ください。料金や席数、面積など、詳しくはホームページをご覧になるか、お問合せください。

申込み・問合せ　余市宇宙記念館　☎21－2200

星の明るさについて

空に見える星には、明るい星や暗い星があります。

天文学では、星の明るさを表すのに「等級（とうきゅう）」という単位を使っています。

数字が小さいほど明るく、マイナスがつくと、もっと明るいことを示しています。

等級が1.0変わると明るさは2.5倍増すので、1等級と6等級では100倍も違うことになります。

惑星のように、地球と太陽の位置関係により表面積が変化して、明るさが変わるものは、そのときの明るさを等級で表します。

金星の場合は、もっとも明るいときには、マイナス4.9等級、もっとも暗いときにはマイナス3.8等級となります。

一番明るい太陽は、なんと約マイナス27等級、2番目に明るい満月は約マイナス13等級となります。

また、シリウス（おおいぬ座）はマイナス1.5等級、スピカ（おとめ座）とアンタレス（さそり座）は1.0等級の明るさとなります。

星の明るさ表（1等級の明るさを1とした場合の各等級の明るさ）

等　級	-4等級	-3等級	-2等級	-1等級	0等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級
星の明るさ	100	40	16	6.3	2.5	1	0.4	0.16	0.063	0.025	0.01
	← 明るい								暗い →		

ほしぞら情報

国立天文台のホームページ（www.nao.ac.jp/astro/sky/2020/03.html）から3月のほしぞら情報をお届けします。

★月
新月は24日、満月は10日です。

★金　星
日の入り後の西の空で明るく輝いています。明るさは、マイナス4.2等級からマイナス4.4等級。

★火　星
いて座を東に移動し、月末にはやぎ座に入ります。日の出前の南東の空に見え、明るさは、1.1等級から0.8等級。

★木　星
いて座を東に移動しています。日の出前の南東の空に見え、明るさは、マイナス2.0等級からマイナス2.1等級。

★土　星
いて座を東に移動し、月末にはやぎ座に入ります。日の出前の南東の空に見え、明るさは0.7等級。

宇宙記念館
サポートボランティアを募集しています。

上の記事の詳細は宇宙記念館ホームページ（https://www.spacedome.jp）をご覧ください♪

余市宇宙記念館では「館内案内パンフレット」に掲載する広告を募集します。

申込期間　3月3日（火）～13日（金）

申込み・問合せ　余市宇宙記念館　☎21－2200（詳細は町ホームページをご覧ください）